

機械の稼働レポート

日立建機日本株式会社
関東甲信越支社 埼玉支店 埼玉東営業所

担当者：長島 遥人

レポート番号

DRP-F0000001000-0006981921-0010

お客様名

株式会社さいたま資材 様

報告対象の機械

機種コード	モデル名	号機	PIN/VIN
DADA0	ZX120-5B	091630	HCMDADA0H00091630
お客様内管理番号			

レポート発行日

2025/04/08

報告対象となる期間

2025/03/01 ~ 2025/03/31

目次と当月の概要

当月の稼働時間と稼働状況	概要
当月の稼働状況 ECO運転レポート 機械の稼働時間（詳細） 機械の稼働状況分析	稼働日数 15 日 当月稼働時間 40.3 hr 燃料消費量 259 l ECOモード時間比率 100 % ECO判定（無操作比率） A B C D ECO判定（巡回操作比率） A B C D
アタッチメント操作時間	概要
当月と累積の操作時間	当月操作時間 0.0 hr
ラジエータ冷却水の最高温度の推移	概要
平均最高温度推移	平均最高温度 低温域
作動油の最高温度の推移	概要
平均最高温度推移	平均最高温度 低温域
ラジエータ冷却水、作動油の温度分布	概要
ラジエータ冷却水の温度分布 作動油の温度分布	ラジエータ冷却水 低温域での使用が多い傾向にあります。 作動油 低温域での使用が多い傾向にあります。
直近200hrのポンプ圧力の傾向	概要
ポンプ圧力 掘削時におけるポンプ圧力 走行時におけるポンプ圧力	ポンプ圧力 低負荷での使用が多い傾向にあります。 掘削時 ポンプ圧力 低負荷での使用が多い傾向にあります。 走行時 ポンプ圧力 中負荷での使用が多い傾向にあります。
稼働日報	概要
稼働日報（詳細）	実稼働時間 34.6 hr 無操作時間 5.7 hr
アラーム発生履歴	概要
発生アラーム一覧	当月発生回数 0 回

注：本レポートは、Global e-Service登録済みのデータにのみ基いており、必ずしも最新の機械の実態を反映しているとは限りません。

当月の稼働時間と稼働状況		レポート番号	DRP-F0000001000-0006981921-0010
		お客様内管理番号	
モデル名	ZX120-5B	報告対象期間	2025/03/01 ~ 2025/03/31
号機	091630	レポート発行日	2025/04/08

当月の稼働状況

最新アワメータ	4,765 hr	経過年数	10年 10ヶ月
稼働日数	15 日	当月稼働時間	40.3 hr

稼働状況カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
						0.8
						6
2	3	4	5	6	7	8
		1.2		4.0	0.8	7
			7	22		
9	10	11	12	13	14	15
	2.1	6.9		1.1	1.7	
		11	54	6	12	
16	17	18	19	20	21	22
		1.7			8.3	3.0
			13		47	23
23	24	25	26	27	28	29
	5.6	1.8			1.0	
		35	11		5	
30	31					
	0.6					
		3				

色凡例

14.5	1日の稼働時間が5.1hr以上
218	
3.5	1日の稼働時間が5.0hr以下
53	
1.0	1日の稼働時間が2.0hr以下
15	
	非稼働日

項目凡例

1	日付
3.5	稼働時間[hr]
53	燃料消費量[l]

パワーモード比率

PWRモード	0 %	ECOモード	100 %
--------	-----	--------	-------

※ ECOモードを使用することで、燃費の向上を図ることができます。

燃費/CO2

燃料消費量	259 l	前月比	-70 l
-------	-------	-----	-------

※ 表示されている燃料使用量は理論計算値であり実際の使用量に対し誤差があります。
機種により理論噴射量から計算若しくは油圧ポンプ負荷から推量した値を表示しています。

平均燃料消費量	6.4 l/hr	前月比	+0.6 l/hr
---------	----------	-----	-----------

※ 燃料消費量/エンジン稼働時間にて算出した参考値です。無操作時間が多いと数値は少なくなります。

CO2排出量	667 kg	前月比	-181 kg
--------	--------	-----	---------

※ 燃料消費量を基に算出した参考値です。

ECO運転レポート

無操作比率	14 % (5.7 hr)
-------	---------------

※ 上記グラフは、上段が対象機械の無操作比率、下段が地域・クラス平均の無操作比率です。

判定	A	B	C	D
----	---	---	---	---

良好 ←

コメント	無操作比率が非常に少ない傾向にあり、経済的に作業しています。
------	--------------------------------

※ 参考として20トンクラスの場合、無操作時間において、アイドリング時で約2 l/hr、オートアイドル時で約4 l/hrの燃料を消費します。

- A: 無操作比率が0~15%
B: 無操作比率が16~29%
C: 無操作比率が30~43%
D: 無操作比率が44~100%

旋回操作比率	63 % (21.8 hr)
--------	----------------

※ 上記グラフは、上段が対象機械の旋回操作比率、下段が地域・クラス平均の旋回操作比率です。

判定	A	B	C	D
----	---	---	---	---

良好 ←

コメント	旋回操作比率が少ない傾向にあり、効率良く稼働しています。
------	------------------------------

- A: 旋回操作比率が0~54%
B: 旋回操作比率が55~64%
C: 旋回操作比率が65~74%
D: 旋回操作比率が75~100%

当月の稼働時間と稼働状況		レポート番号	DRP-F0000001000-0006981921-0010
		お客様内管理番号	
モデル名	ZX120-5B	報告対象期間	2025/03/01 ~ 2025/03/31
号機	091630	レポート発行日	2025/04/08

機械の稼働時間（詳細）

当月の稼働時間



※ 複合操作時はそれぞれの作業時間に加算されるため、作業時間の合計はエンジン稼働時間よりも多くなることがあります。

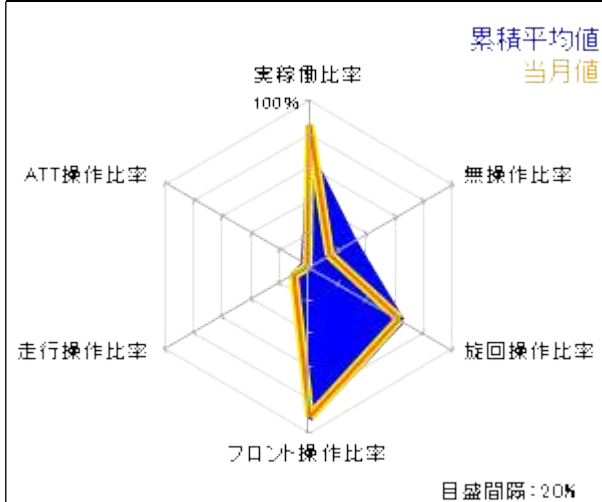
累積の稼働時間



※ 複合操作時はそれぞれの作業時間に加算されるため、作業時間の合計はエンジン稼働時間よりも多くなることがあります。

機械の稼働状況分析

各作業時間の比率

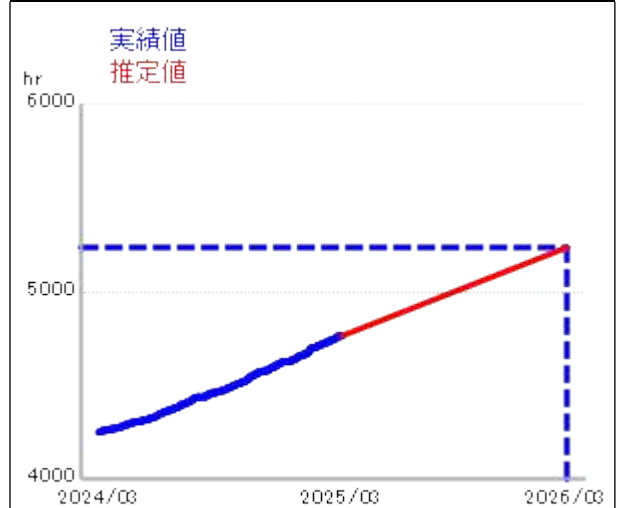


コメント

実稼働比率が累積平均値より高い傾向にあります。
無操作比率が累積平均値より低い傾向にあります。

※ 実稼働比率、無操作比率は、各操作時間/エンジン稼働時間で算出しています。
その他の比率は、各操作時間/実稼働時間で算出しています。

エンジン稼働時間の推移



1年後の推定稼働時間

5,237 hr

※ 推定値は、当月までのエンジン稼働時間の傾向から1年後を算出した値です。機械の稼働現場状況が変化した場合、推定値は大きく異なる値になることがあります。

エンジン稼働時間到達日

5,000 hr	5,250 hr	5,500 hr	5,750 hr
2025/09/29	2026/04/11	2026/10/22	2027/05/04

アタッチメント操作時間		レポート番号	DRP-F0000001000-0006981921-0010
		お客様内管理番号	
モデル名	ZX120-5B	報告対象期間	2025/03/01 ~ 2025/03/31
号機	091630	レポート発行日	2025/04/08

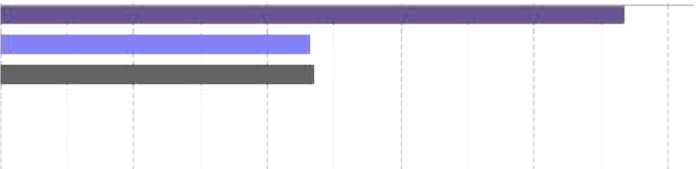
当月と累積の操作時間

各アタッチメント操作時間は、モニタ上にて設定されたアタッチメントモードの使用時間を表示しています。

当月の稼働時間

項目	当月	0	2	4	6	8	10
アタッチメント操作時間	0.0 hr						
ブレーカ操作時間	0.0 hr						
小割機操作時間	0.0 hr						
破碎機操作時間	0.0 hr						
パイプロ操作時間	0.0 hr						
上記以外のアタッチメント操作時間	0.0 hr						

累積の稼働時間

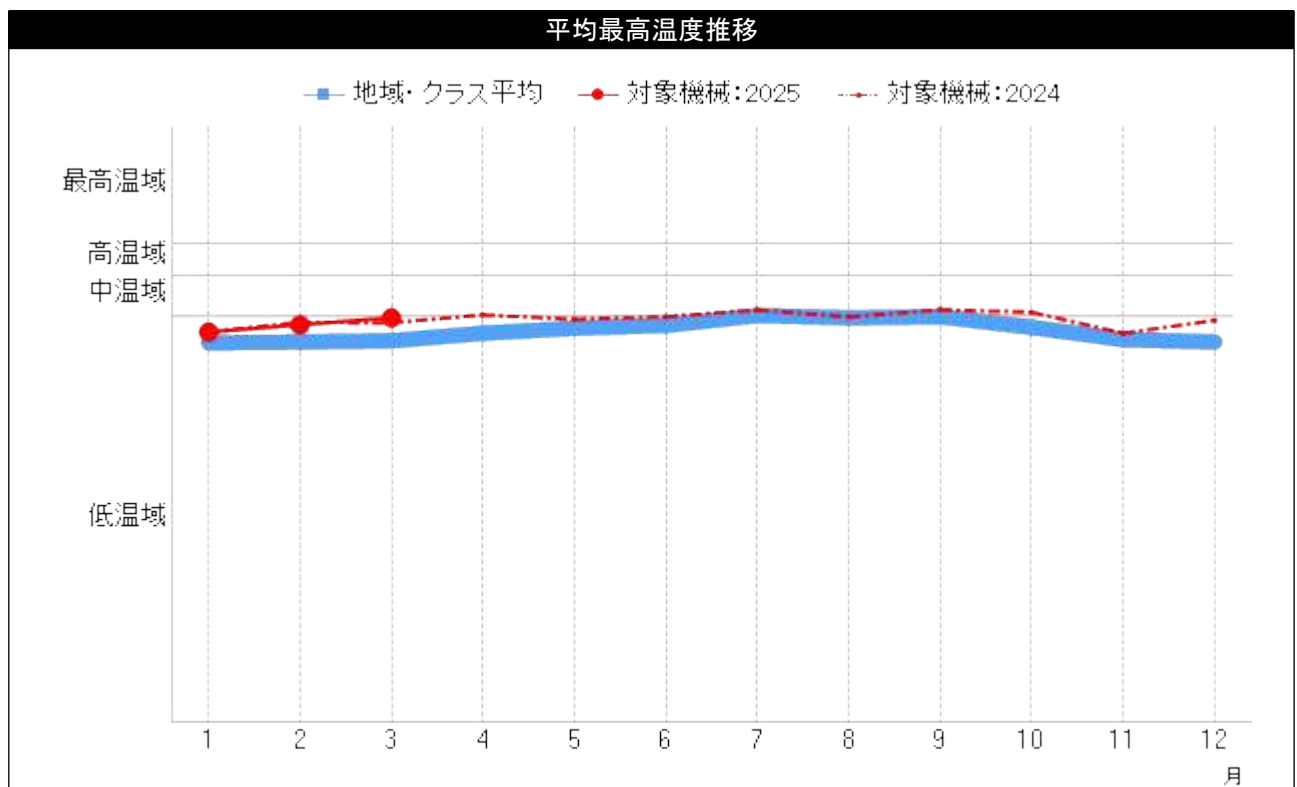
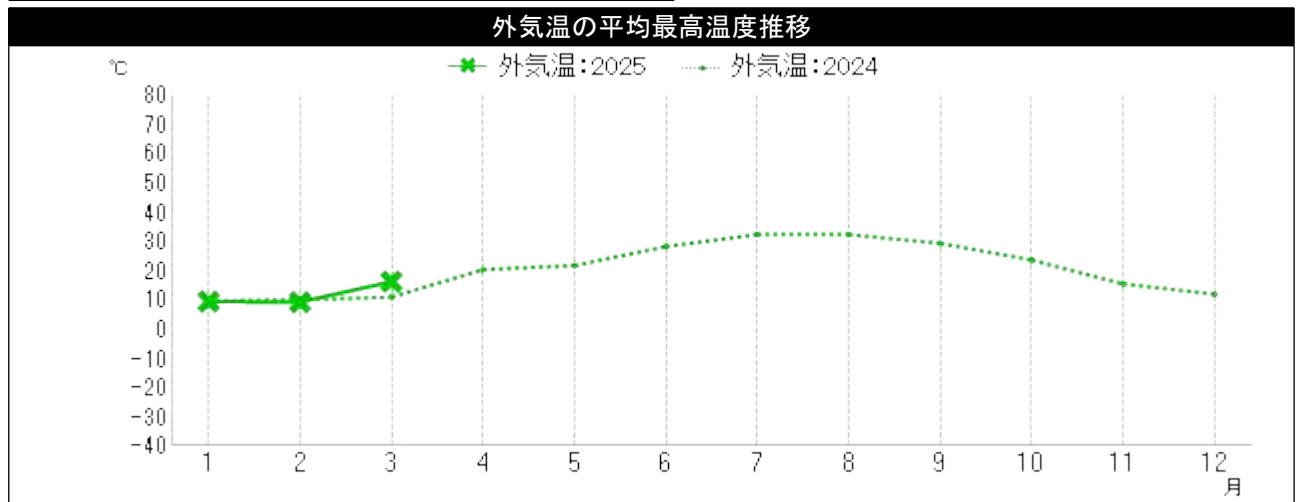
項目	累積	0	20	40	60	80	100
アタッチメント操作時間	93.7 hr						
ブレーカ操作時間	46.6 hr						
小割機操作時間	47.1 hr						
破碎機操作時間	0.0 hr						
パイプロ操作時間	0.0 hr						
上記以外のアタッチメント操作時間	0.0 hr						

ラジエータ冷却水の最高温度の推移		レポート番号	DRP-F0000001000-0006981921-0010
		お客様内管理番号	
モデル名	ZX120-5B	報告対象期間	2025/03/01 ~ 2025/03/31
号機	091630	レポート発行日	2025/04/08

平均最高温度推移

1日の最高温度を月毎に平均値として算出し、折れ線グラフで表示しています。

対象期間 2024/01/01 ~ 2025/03/31



コメント 当月の冷却水温度については、低温域で推移しています。

※ 最高温域は、オーバーヒートの温度です。

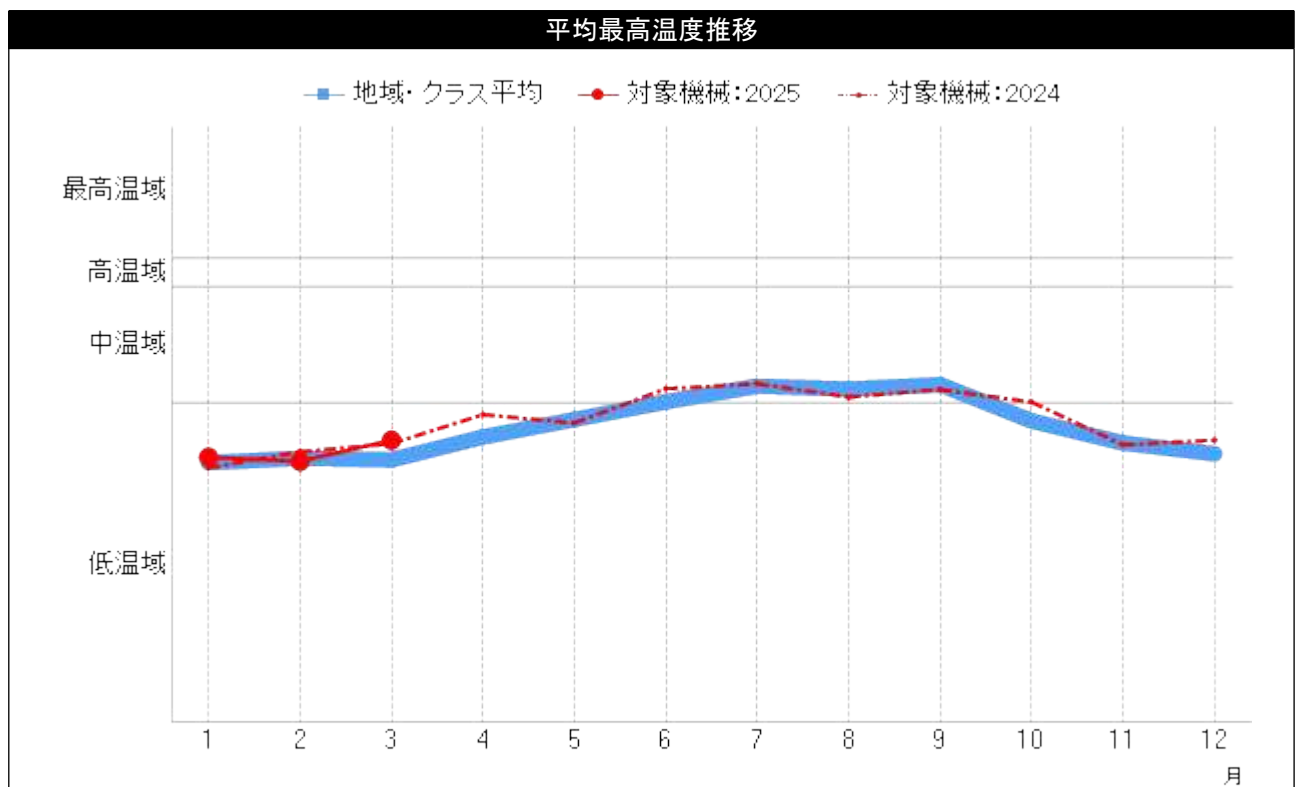
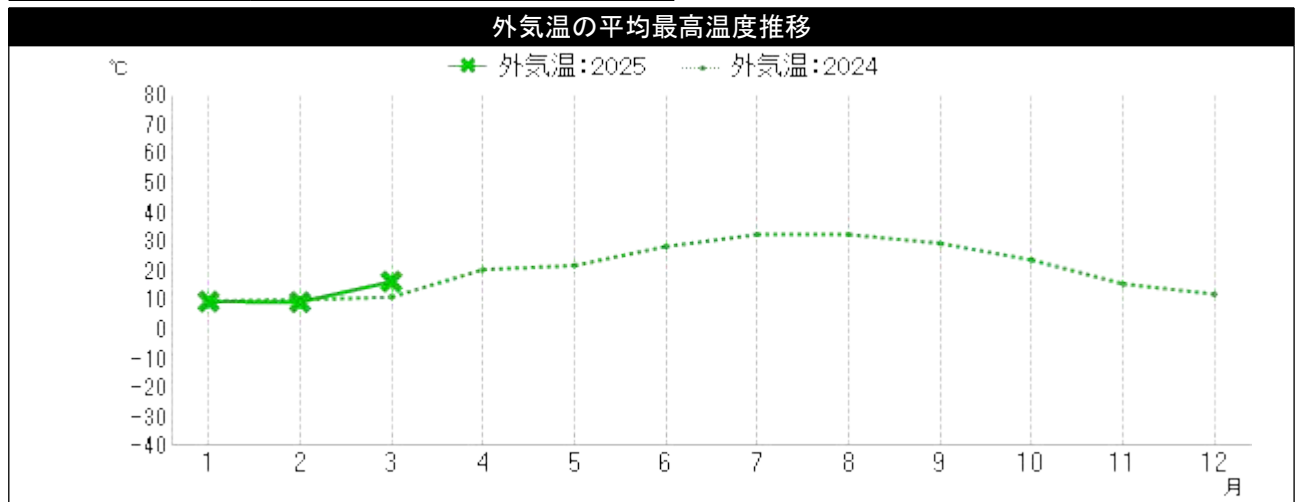
※ 低温域から高温域は正常温度域です。

作動油の最高温度の推移		レポート番号	DRP-F0000001000-0006981921-0010
		お客様内管理番号	
モデル名	ZX120-5B	報告対象期間	2025/03/01 ~ 2025/03/31
号機	091630	レポート発行日	2025/04/08

平均最高温度推移

1日の最高温度を月毎に平均値として算出し、折れ線グラフで表示しています。

対象期間 2024/01/01 ~ 2025/03/31



コメント 当月の作動油温度については、低温域で推移しています。

※ 最高温域は、オーバーヒートの温度です。

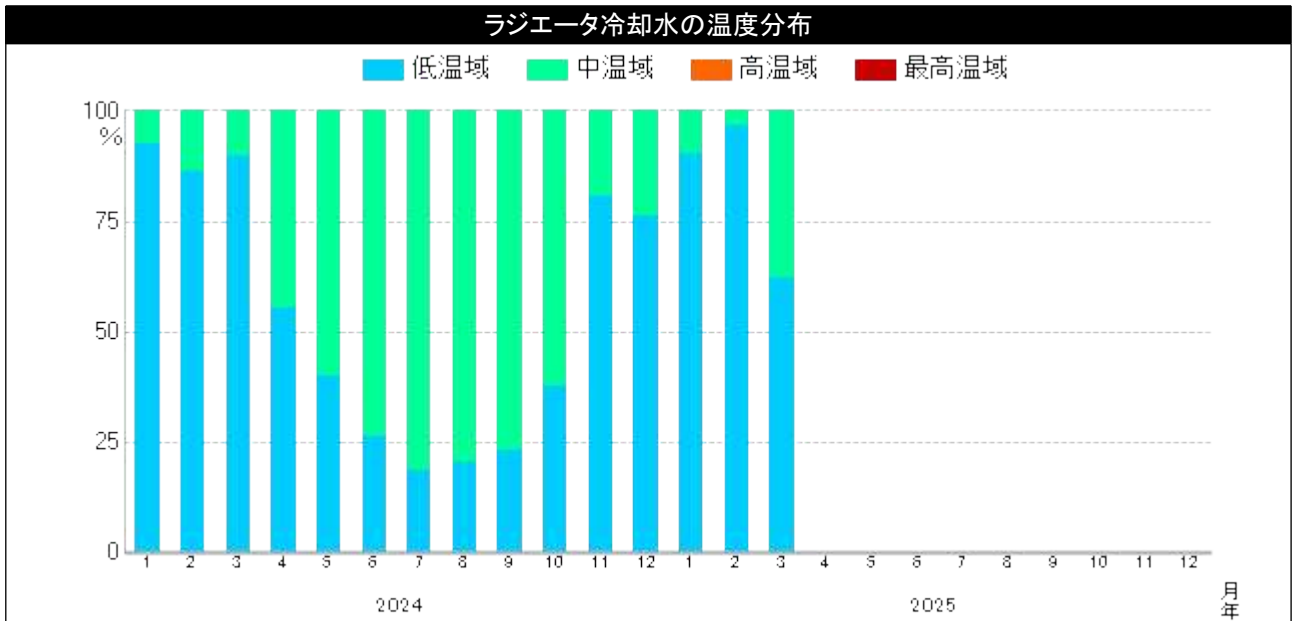
※ 低温域から高温域は正常温度域です。

ラジエータ冷却水、作動油の温度分布		レポート番号	DRP-F0000001000-0006981921-0010
		お客様内管理番号	
モデル名	ZX120-5B	報告対象期間	2025/03/01 ~ 2025/03/31
号機	091630	レポート発行日	2025/04/08

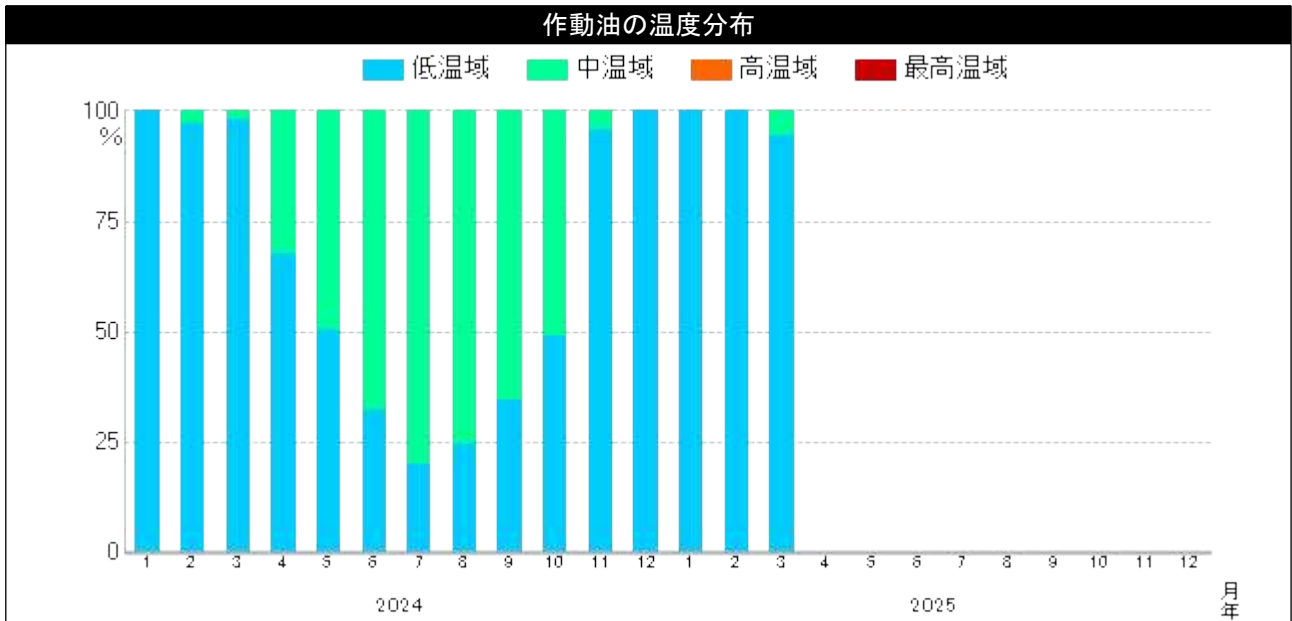
ラジエータ冷却水、作動油の温度分布

1日毎の温度を集計し、月毎の温度割合を棒グラフで表示しています。

対象期間 2024/01/01 ~ 2025/03/31



コメント 当月の冷却水温度については、低温域で推移しています。



コメント 当月の作動油温度については、低温域で推移しています。

※ 最高温域は、オーバーヒートの温度です。

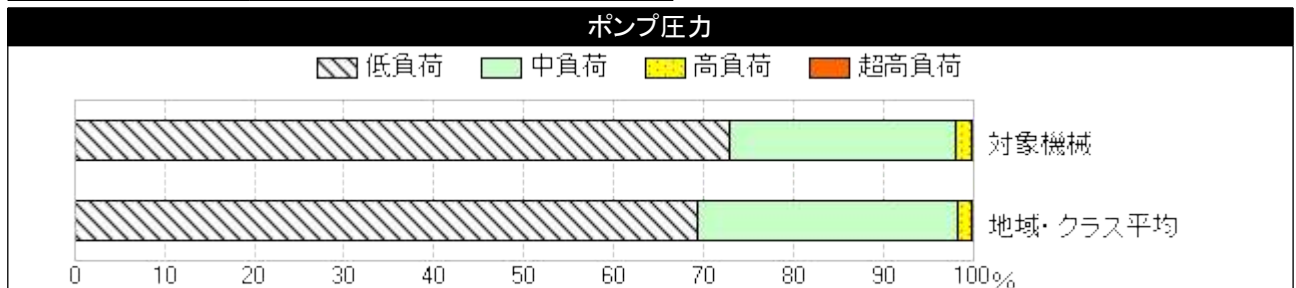
※ 低温域から高温域は正常温度域です。

直近200hrのポンプ圧力の傾向		レポート番号	DRP-F0000001000-0006981921-0010
		お客様内管理番号	
モデル名	ZX120-5B	報告対象期間	2025/03/01 ~ 2025/03/31
号機	091630	レポート発行日	2025/04/08

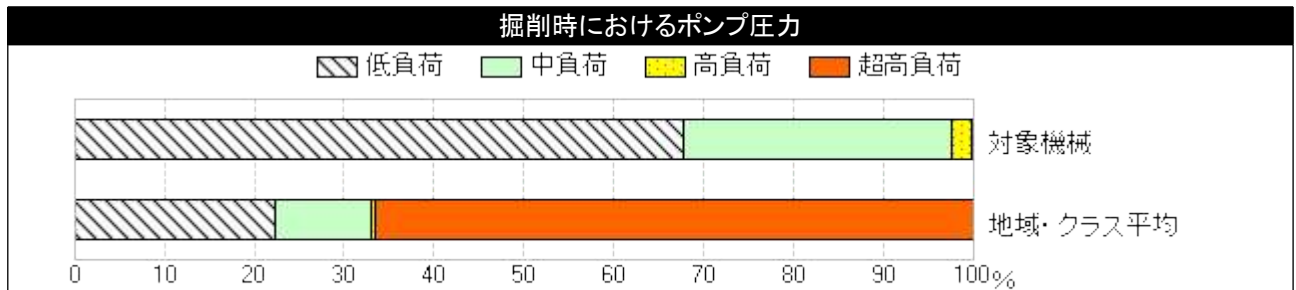
直近200hrのポンプ圧力の傾向

対象期間内において、どの帯域に負荷が集中しているかを表したグラフです。
横軸は、対象期間内における各負荷帯域の割合を表示しています。

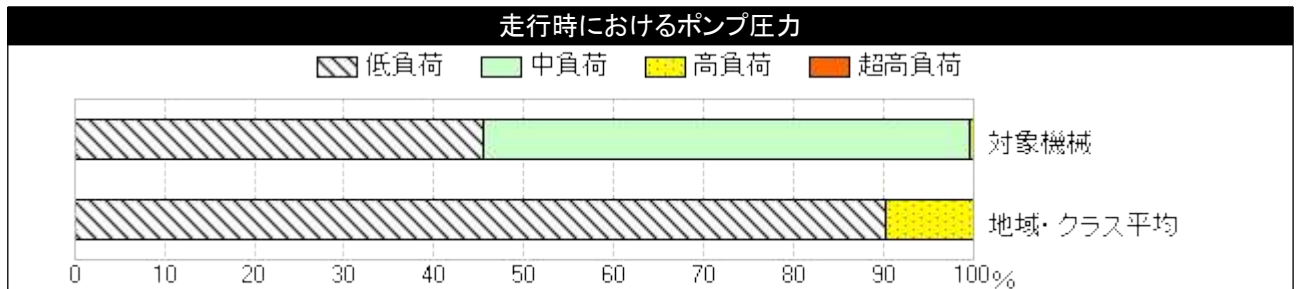
対象期間 4,565 hr ~ 4,765 hr



コメント 低負荷での使用が多い傾向にあります。
下段は、地域・クラス平均のグラフです。



コメント 低負荷での使用が多い傾向にあります。
下段は、地域・クラス平均のグラフです。



コメント 中負荷での使用が多い傾向にあります。
下段は、地域・クラス平均のグラフです。

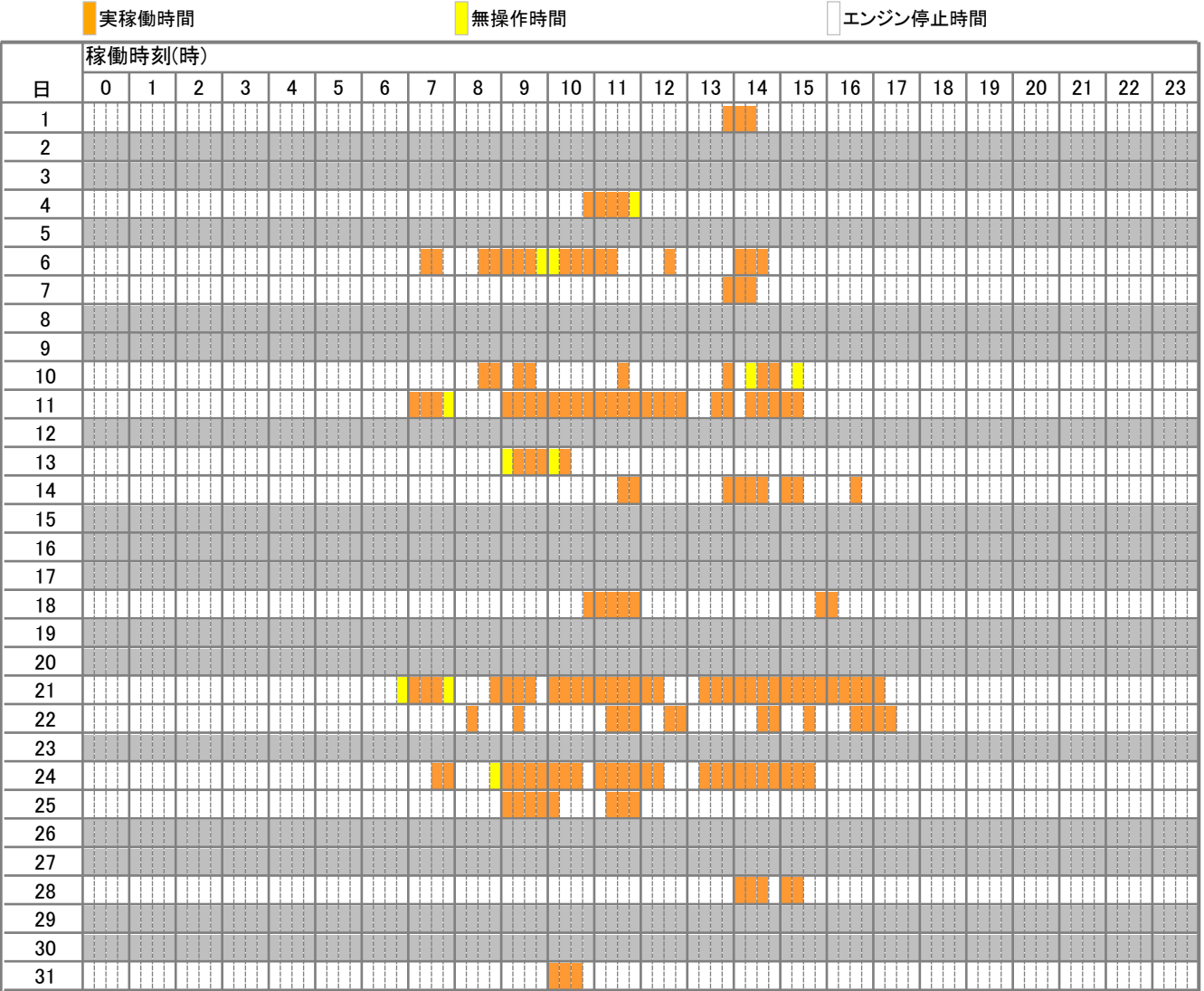
稼働日報		レポート番号	DRP-F0000001000-0006981921-0010
		お客様内管理番号	
モデル名	ZX120-5B	報告対象期間	2025/03/01 ~ 2025/03/31
号機	091630	レポート発行日	2025/04/08

稼働日報 (詳細)

当月の稼働状況(日毎)を表示しています。

当月の稼働時間

当月稼働時間	40.3 hr
実稼働時間	34.6 hr
無操作時間	5.7 hr



※ : Global e-Serviceに機械から情報が取得されていないため、稼働状況を表示していません。

発生アラーム一覧

当月発生回数		0 回
緊急	0 回	
メンテナンス	0 回	

注:本レポートは、Global e-Service登録済みのデータにのみ基いており、必ずしも最新の機械の実態を反映しているとは限りません。

補足. 用語説明		レポート番号	DRP-F0000001000-0006981921-0010
		お客様内管理番号	
モデル名	ZX120-5B	報告対象期間	2025/03/01 ~ 2025/03/31
号機	091630	レポート発行日	2025/04/08

本レポートに用いている用語の説明

項目	説明
エンジン稼働時間	エンジンを稼働している時間の合計。
エンジン停止時間	エンジンが稼働していない時間。
フロント操作時間	フロントを操作している時間の合計。
旋回操作時間	旋回操作をしている時間の合計。
走行操作時間	走行操作をしている時間の合計。
無操作時間	操作していない時間(アイドリング時間)の合計。
実稼働時間	エンジン稼働時間から無操作時間を引いた時間。
ポンプ圧力	掘削、走行操作時のポンプ吐出圧力。
掘削時におけるポンプ圧力	フロント操作時のポンプ吐出圧力。
走行時におけるポンプ圧力	走行操作時のポンプ吐出圧力。
外気温	稼働現場の外気温。温度センサーは、カバー内に設置しているため、実際の気温よりも高くなる傾向にあります。